



図書館の **カ** !!



あなたの「しらべる」応援します！

大阪府立図書館のレファレンスサービス

大阪にある、とある会社の昼休み・・・

最近バリバリと元気に仕事をしていると評判の太郎さんに、同僚の花子さんが話しかけています。



花子： 最近、調子よさそうやね！こないだの企画もバッチリやったし。ウワサでは図書館に行ってるんやって？



太郎： うん、こないだ、社長から「若者にウケるイベントを考えてくれ」で言われたんや。「今の時代は、これまでと同じことしてたらアカン！」って。とりあえず、ネットで検索したんやけど、ますます分からへんようになってしもた。そんで、そや、いっぺん図書館でしらべたろ思て、行ってみたんや。考えたら図書館って本いっぱいあるやん。何かネタあるんちゃうかと思て。



花子： うん、けど図書館って、私も行ったことあるけど、本がいっぱいどこ見たらええか、さっぱり分からへんかったわ。



太郎： そやそや、僕も半日くらい自分であれやこれやひっくりかえして見たけど、なかなか「これ」いうのが見つからへんかってん。そんで、いっぺんカウンターのの人に聞いてみたらと思うたんや。

そこで、太郎さんは、カウンターの司書に相談してみました。太郎さんのあいまいな質問をうけて、司書はいくつかのキーワードをわかりやすく示したり、ヒントを出してくれたので、太郎さんは希望通りの本に短時間でたどり着くことができました。そのうえ、新聞や雑誌の情報も手に入れることができたのです。また、太郎さんは、司書と一緒に探す中で、上手な検索のコツや、図書館の本の並び方などを教えてもらいました。



太郎： ほんまにビックリや！ やっぱ「餅は餅屋」やなあ。紹介してくれはった本を見ていったら、思いもせえへんかったような情報が見つかったりしてな。結局閉まるまで図書館におったわ。



花子： ふうん、なんやおもしろそうやね。図書館って本を借りるだけの所とちゃうんやね。イメージだいぶ変わったわ。



太郎： そやろ。図書館ってこっちの気の持ちようひとつでいろんなモン見つけられるとこやで。タダやし、いつでもカウンターで聞けるし、なかなかすごい所や。



花子： なんか、「使わな損」みたいな気分になってきたわ。今度私もいっぺん行ってみよ。

自分も図書館へ行くようになって、使い上手になった花子さんは、仕事の情報だけでなく、趣味の本も予約して借りるようになりました。そして最近では家族みんなが図書館を使っている、とのことでした。

「これからは情報が大事！」っていうけれど…

社会が大きく変化する中、毎日の暮らしの中で直面するさまざまなできごとに対して、**情報を収集し、自分にとって適切な情報を選択し、判断する必要性が高まっています。**

また、**独創的なアイデア、発想を生み出していくにも情報が必要です。**新たなアイデアや発想は、過去に生まれた無数のアイデアがもとになり、それをアレンジしたり、結びつけたりして生まれます。アイデアを生み出すためには、たくさんの質の高い情報に触れることが大切です。

「**確かな、質の高い情報を得る**」ということが、今、ますます重要になっています。

では、どうすれば「**確かな、質の高い情報**」は得られるのでしょうか？

調べるといえば、今やインターネットでしょう。検索エンジンに言葉を入れると、たちどころに膨大な情報がヒットします。

しかし、自分のさがしている情報にたどりつかない、見つかった情報が本当に確かなものか判断がつかない、という声は多く聞かれます。また、ウェブ情報が「強い分野」「弱い分野」もあります。

インターネット以外の情報源としては、本や雑誌・新聞があります。行政機関や各種団体が発行する、一般には流通しない資料にも貴重な情報が載っていることがあります。

そこで、**図書館の出番です！**

図書館には、多くの本や雑誌・新聞があります。書店で買える新刊本だけではなく、今では絶版になった古い本や、流通しない非売品の資料もあります。

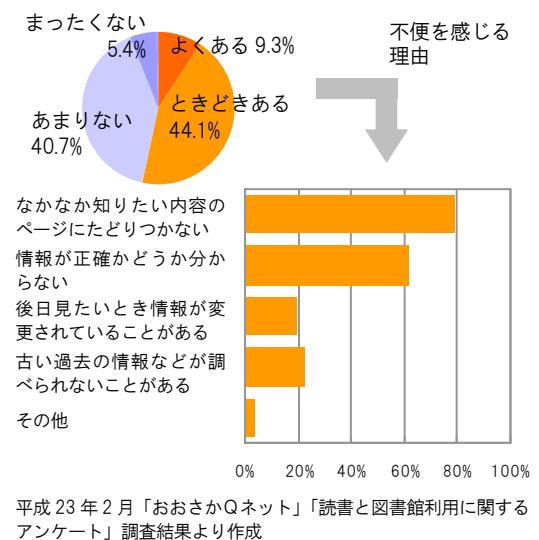
また、最近の図書館では、本や雑誌だけではなく、データベースやインターネットの情報も一緒に提供しているところが増えています。

くわえて図書館では、同じひとつのテーマに関することでも、さまざまな立場や見方に立って書かれた多様な資料を利用することができます。

たくさんの多様な情報がある図書館は、まさに人類の知識・智恵の宝庫です。これだけでも図書館のメリットは大きいですね。

でも、調べるときに図書館を使うメリットは、それだけではないんです！

【インターネットで調べるとき不便に感じることはありますか？】



図書館で「調べる」メリット

情報の専門家「司書」をご存知ですか？

カウンターにいる図書館の人（司書）に、質問をしたことがありますか？

大量の情報の中から、自分にとって本当に必要な情報を見つけるのは、なかなか大変です。「情報を見つけ出すこと」「調べること」についての知識やノウハウが必要な場合があるからです。

司書は、情報の専門家です。図書館にある本や雑誌・新聞からデータベースやインターネットで入手できる情報まで、さまざまな情報源の中から、利用者ひとりひとりのニーズにあった情報をさがし出し、結びつけるノウハウを持っています。

図書館のカウンターでは、特定の本があるかどうか、さがしているテーマの本がどの書棚に並んでいるかといったことはもちろんのこと、「調べ方」について**司書に相談**することができます。

たとえば、さがしているキーワードでは情報が見つからないとき、司書は、「すこし見方を変えて、この切り口で調べてみてはどうでしょうか」といったご提案ができるのです。

また、さがしている情報はその図書館で見つからないとき、それを持っている別の図書館からの資料の取寄せをご案内することもできます。

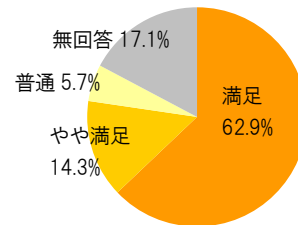
図書館では、こうした調査相談を「**レファレンスサービス**」と呼んでいます。



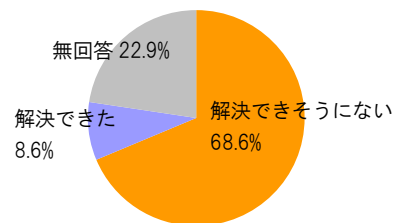
僕も、いろんな団体のアンケート調査報告とか、新聞の特集記事なんかを紹介してもらって一気に調査が進んだんや！

【利用者の声～アンケートより】

Q. 調査相談で得た回答に満足いただけましたか？



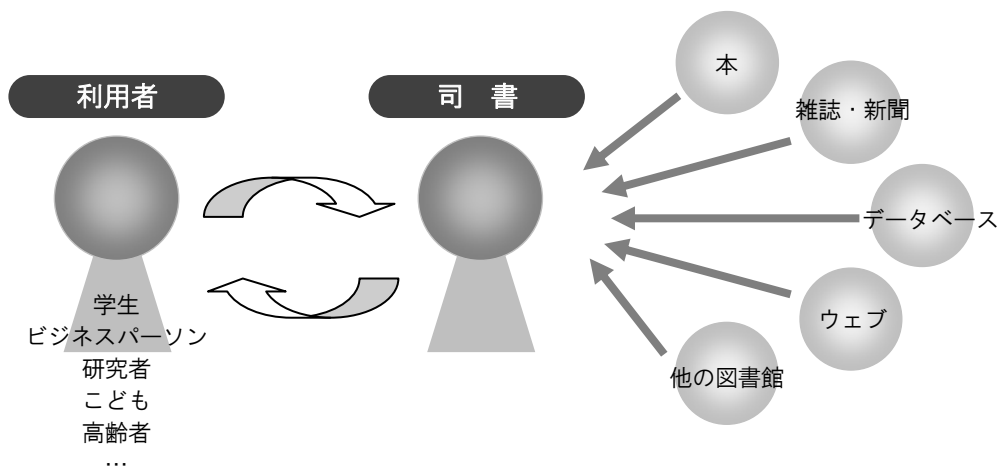
Q. 調査相談を利用しなかった場合、ご自身で解決できたと思いますか？



「平成 23 年度大阪府立中之島図書館ビジネス資料室アンケート等調査結果」より作成

自分で調べていく中で行き詰ったときなど、必要なときに、レファレンスサービスを利用して、**司書に相談しながら調査を進める**ことができる。

そのことが、他の方法では得られない、「図書館で調べること」のメリットなのです。



【コラム】ベテランの司書の「力」～ 利用者に育てられる司書

公共図書館には、赤ちゃんからお年寄りまで、学生、ビジネスパーソン、研究者… さまざまな方がそれぞれに異なる目的を持って来館されます。社会の変化の中で、利用者のニーズはますます複雑になっています。こうしたニーズをいかに把握するか、実は、ベテランの司書の「力」は、ここにあらわれます。

相談では、疑問をズバリお話していただけるとは限りません。むしろ「調べたいことがあるけれど、どこから手をつけてよいか分からない」から相談されるともいえます。お話を通して、言葉にならないニーズにいかに対応するか。あまり人には言いたくない悩みについて調べようとしている方もいます。相談者に寄り添い、信頼を得て、一緒に問題に迫っていく必要があります。情報源に対する知識の習得とともに、こうした利用者とのやりとりを積み重ねて、司書は力をつけていきます。

情報源に対する知識、利用者のニーズを把握する力、そしてそのニーズと情報源を結び付ける力。経験を積んだ司書であればあるほど、相談を受けて適切な情報にたどりつくまでの時間は短くなり、しかも、より利用者のみなさんのニーズにあった情報を提供できるようになるのです。

「調べる」を支える図書館ネットワークと大阪府立図書館

毎日の暮らしの中でいちばん身近な図書館は、お近くの市町村図書館でしょう。

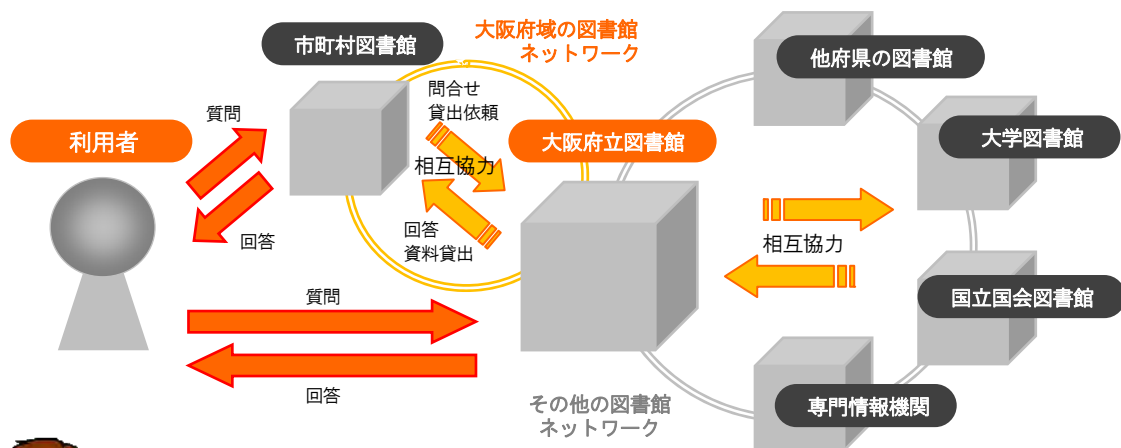
市町村図書館で調べたいことが解決しないとき、そのバックには大阪府立図書館があります。百年をこえる歴史があり、約300万冊という国内有数のコレクションを持つ大阪府立図書館の蔵書を合わせれば、調査の幅はぐっと広がります。

ひとつの図書館の蔵書で対応できる範囲には限界があるため、図書館はネットワークを組み、協力してサービスを行っています。カウンターに寄せられた質問がその図書館で解決しないとき、市町村図書館の司書は、大阪府立図書館に調査への協力を依頼します。身近な市町村図書館をとおして、大阪府立図書館のレファレンスサービスを活用することができます。

もし大阪府域の図書館で対応できないときは、司書は、さらに他府県の公共図書館、大学図書館、国立国会図書館などとのネットワークを通じ、おさがしの情報を入手するお手伝いをします。

身近な図書館のカウンターを通じて、全国の図書館を使った調査ができる。

これも「図書館で調べること」の大きなメリットです。



全国の図書館の力を借りることができるなんて、すごい！

【コラム】大阪府立図書館と市町村図書館の違い

都道府県図書館である大阪府立図書館にとって、大阪府域の市町村図書館をバックアップし、図書館相互の連絡調整を図ることは、市町村図書館と異なる重要な役割です。

資料収集においては、市町村図書館ではそろえることが難しい専門的な資料を積極的に集めるとともに、それらを確実に保存しています。週に一度、府立図書館の車が各市町村図書館をまわって資料を運び、府民のみなさんは、お近くの市町村図書館で府立図書館の資料を利用することができます。府域の市町村図書館の蔵書を一度に検索できる「横断検索システム」も、府立図書館が提供する重要なツールです。

こうした仕組みにより、市町村図書館を支え、市町村図書館と協力しながら、府民のみなさんに確実に資料を届ける体制を整えているのです。

広がるレファレンスサービス

たくさんの情報が集まる図書館の力と司書の持つ力を活かし、みなさんの「調べる」をサポートするメニューはたくさん用意されています。大阪府立図書館のサービスをご紹介します。

個人利用者へのサービス

さまざまな利用者のニーズにこたえるサービス

来館せずとも、24時間いつでもどこからでも、インターネットで調査相談を申し込める「eレファレンス」をはじめ、さまざまな利用者のニーズに対応するため、きめ細かなサービスを提供しています。



これは便利！家や会社からいつでも相談できるんやね！



ビジネス支援サービス

こどもへのサービス

大阪資料
古典籍
サービス

障がいのある人へのサービス

情報検索講座

ニーズの高いテーマについて司書が調べ方を解説する講習会を開いています。



タダで司書の人から調べ方のコツを教えてもらえるんやから、これはかなりお得やね。

【平成 23 年度の講座】

- 「医療情報の調べ方がわかる！」
- 「歴史を調べるはじめの一歩」
- 「夏休み自由研究応援団！2011」
- 「企業情報の調べ方」
- 「就職活動に役立つ業界情報の調べ方」
- 「判例・法令の調べ方」

「調査ガイド」の発行、「レファレンス事例」の公開

「調査ガイド」は、ご質問の多いテーマの調査方法をご紹介します、司書のノウハウ満載のリーフレットです。ホームページでも公開しています。

大阪府立図書館のホームページではこのほか、役立つ情報源となるサイトを集めたリンク集や、調査の参考となるよう、過去に寄せられた質問と回答の事例を紹介する「レファレンス事例データベース」などを提供しています。



ひとりで調べ物を進めるときに、これはめっちゃ役立つわ！



市町村図書館へのサービス

市町村図書館への支援、市町村図書館を通じた府民へのサービスは、都道府県図書館である大阪府立図書館の重要な仕事です。

市町村図書館から依頼のあった調査への協力のほか、大阪府立図書館では、調査ノウハウを市町村図書館に伝えるため、市町村図書館の司書を対象とした各種研修や、相互に高めあうための場の提供を行い、府域の図書館全体の「司書力」アップにとりくんでいます。

学校へのサービス

子どもたちが豊かに育つ読書環境づくりは、社会の大きなテーマです。

「スクールサービス・デイ」の実施による学校の団体利用や、子どもたちを対象にした図書館での調べ方の講習会など、「調べ学習」などでの図書館利用を促進する取り組みとともに、学校の先生が授業や教材を作るときに参考になる調査の方法を司書が伝える研修なども行っています。

行政へのサービス（政策立案支援サービス）

大阪府が政策立案するにあたり、担当者がより効率的・効果的に仕事を進められるよう、現状分析や海外事例、関連施策、法律・判例など、さまざまな情報収集をサポートすることにより、側面から支援しています。

僕らの知らんところで府民の生活を支えてるんやなあ。



誰でも使える身近な図書館は、「確かな、質の高い情報を得る」ことが求められる時代にあって、今まで以上にみなさんのお役に立てる施設なのです。

さまざまな情報を調べ、新たなことを「知る」ことは、新しい世界を開きます。司書は、みなさんの「調べる」を応援し、そのワクワク！ドキドキ！の道のりを一人でも多くの方に体験していただきたい。そう願っています。



本も司書さんも使わな損々！

これからももっと図書館を使うわ！



【コラム】 どうして司書がサポートしてくれるの？

公共図書館は、すべての人に情報へのアクセスを保障することを使命とし、民主主義の基盤といわれます。そのため、公共財として税金で運営され、法律（図書館法）で「図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない」と定められて、すべての人に扉を開いています。さらに図書館法は、「図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること」と規定し、利用者が司書に相談することができ、資料を活用することができるサービス体制の整備を求めています。資料とあわせてレファレンスサービスを利用できることで、利用者は必要な情報にスムーズにアクセスできるようになるのです。

誰もが情報にアクセスでき、情報を使いこなし、それぞれの力を発揮することができれば、社会はもっと豊かになります。図書館が活用され、そこで新たに生み出された知識は、再び図書館に戻り、さらに次の知識につながっていきます。図書館は、そんな無限の可能性を秘めたところなのです。

さあ、あなたも図書館へ！



大阪府立中央図書館

全分野をカバーする総合図書館



〒577-0011
東大阪市荒本北 1-2-1
電話： 06-6745-0170（代表）

大阪府立中之島図書館

ビジネス支援と大阪資料・古典籍



〒530-0005
大阪市北区中之島 1-2-10
電話： 06-6203-0474（代表）

<http://www.library.pref.osaka.jp/>

